

# 活躍の場を拡大へ

## 県コンクリート診断士会総会

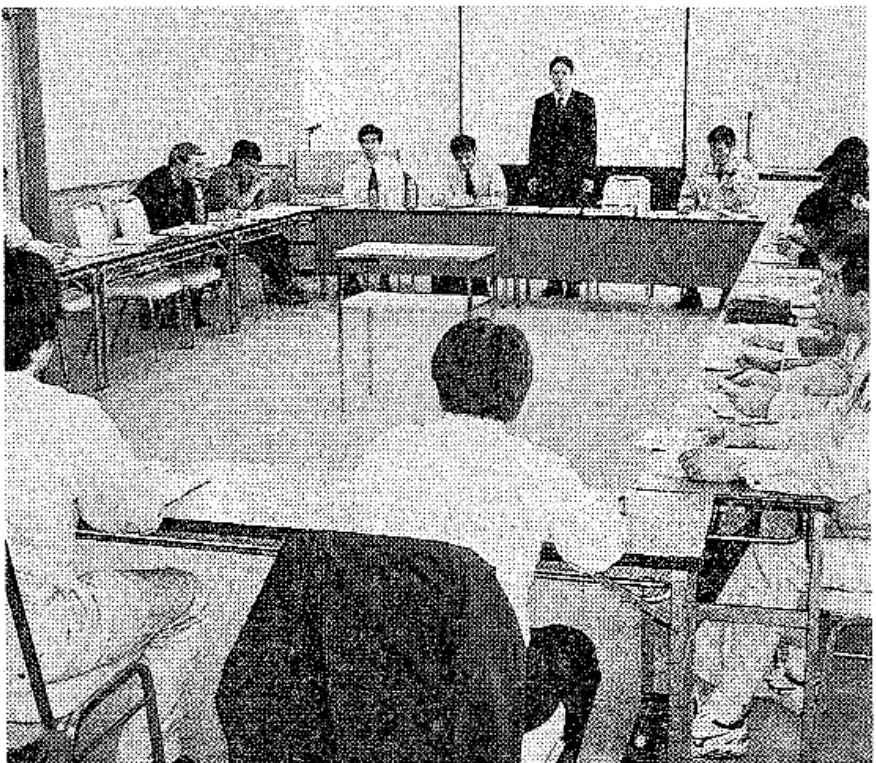
福井県コンクリート診断士会（石川裕夏会長）は23日、県職員会館で07年度定期総会および研修会を開き、活動方針などを決めた。

総会には正会員38人のうち、委任状を含む34人が出席。はじめに石川会長が「本会が発足して3年が経過した。会員

は増加傾向にあり、県および県外でも認知度が高まってきている。活躍の場が広がるよう、さらにこの会を構築していきたい」とあいさつ。07年度事業計画では、研修会のさらなる充実や診断士

会の活動PR・ブランドの発信、HPの開設などに取り組むことを決めた。また、友竹博一副会長の退会に伴い、後任に宮本克彦氏を選任した。研修会では、財団法人福井県建設技術公社の山木忠嘉業務課企画主査が「橋りょう簡易点検マニュアル（案）」の内容や運営方法について説明した。この中で山木氏は、「県が管理する橋りょうのうち、高度経済成長期に架設されたものは約200橋あり今後、劣化や老朽化が問題となる。まずは点検による現状把握に努めなければならな

い」などと述べ、コンクリート診断士の重要性を指摘した。



07年度事業計画などを決めた総会